

# 登下校の危険を防ぐ、子どもの安全見守り隊！

集団登校の列に自動車があつ込んだり、下校中に犯罪に巻き込まれたり…。近年は各地で、小学生が被害に遭う事件が多発している。子どもはかけがえない未来への宝物。大切な命は地域のみんなで守りたい。黄緑色のチョッキをまとったスクールガードたちは、雨の日も夏の暑い日も、登下校中の子どもたちを見守り続ける。



あるのみだ。実はこれも、数年前に野崎さんが、「通学路だから」と市に依頼し設置してもらったものだという。朝の30分間に通る自動車は平均70台、T字路を渡る子どもは6〜7人。数は多くないが、通勤を急ぐ車はスピードを出して駆け抜ける。だから、時には「走るなよ！」「ポケットに手を入れない」「靴はちゃんと履け！」と、口うるさい注意が飛ぶ。「みんな、『野崎のおじさんは怖い』と思ってると思いますよ。でも、ヘタをしたら一生つきまとうケガをしてみようかもしれないから。私があそこ立つことで、少しでも抑止効果が出ればいいんです。条件は厳しいけれど、この場所について横断歩道を作ってあげたいと野崎さんは願う。

一方、防犯の面では、静岡県警によると、子どもが最も危険に遭遇しやすいのは「平日の下校時に、女の子が一人で道路にいたる時」だという。そのため、スクールガードは小学校と連携し、下校時刻や「子ども安全連



絡網」による不審者情報の共有に努めている。

しかし、下校時にはバラツキがあるため、朝よりも活動時間が長い。「寒い日や雨の日より、夏の暑い時が一番大変」と言うように、日陰のない通学路に立ち続けるのは身体的にも厳しい。「それでも元気なうちは、できる限りやっていきたい」と語る野崎さん。その声には、使命感が宿る。

「この町内の若い親御さんは

## 安全09



徳倉小学校区 スクールガード 野崎 高弘 さん

### 地域で取り組む「安全・安心なまちづくり」

徳倉小学校区にスクールガードが結成されたのは、平成20年。同区の安全会議会長に就任した野崎高弘さんが、当時の羽畑享司校長とともに立ち上げた。「平成13年に起きた大阪教育大附属池田小の児童襲撃事件に続き、平成16年は奈良、翌年は広島、栃木で帰宅途中の小学1年生の女の子が被害に遭って…。こんな悲劇は、自分の町で絶対に起こしてはならない」。

現・鈴木康司校長も「皆さん本当に、心の底からやってくれ」と感謝する。メンバーは、徐々に増加し、平成24年度は30人が、連日登下校時間に通学路に出て、子どもたちの安全を見守っている。

野崎さんが持ち場のT字路に立つのは、毎朝7時20分頃。「おはよう！」。やがて現れた一番手の男の子を大きな声で送り出すと、「次は3人組の女の子だよ」の言葉通り、黄色いヘルメット帽の仲良し2年生がやってくる。「おはようございます」と返す声は、元気いっぱいの子も、恥ずかしげな子もさまざまだが、野崎さんは約30分間、ここを通る60人の様子に気を配り、声を掛けていく。

徳倉小界隈は、道幅が狭い上、信号機のない交差点もあるなど、大人でも危ないと感じる場所が少なくない。学校から200mほどにあるこの小さなT字路も、幅5mのメイン道路に整備された歩道はなく、かろうじて片側にグリーンベルトが



写真上／「特に注意が必要な1、2年生には、横断歩道は必ず手を挙げて渡るよう指導しています」と野崎さん。時には挙げた手にハイタッチ！ 写真下／職員室の外の掲示板では写真入りでスクールガードを紹介。子どもたちからの信頼も厚く、年度末には感謝状も贈られた。



おはよう  
ございます

地域活動への参加が積極的なので、いずれ後継者になってくれるでしょう。それに、『安全・安心なまちづくり』は、一部の人間だけでなく、町ぐるみでやることだから。徳倉の町には、今日も元気な子どもたちの笑い声が弾けている。

**関連info.** **安全・安心を守るための取り組み**

**防犯教室**  
三島警察署、三島警察署管内防犯サポーターと協働で市立小学校、幼稚園、保育園で防犯教室を実施するほか、毎年2月に小学校で開催される入学説明会の中で新入生の保護者に対して、入学前に必要な防犯知識や心構えについて講話を行っています。

**地域防犯パトロールの実施**  
「青色回転灯」を装着した防犯パトロール車で、市内のパトロールを行い、防犯意識の向上と犯罪抑止に努めています。

お問合せ/三島市地域安全課 TEL:055-983-2701